

平成21年度 【 学園研究費助成金< A > 】研究成果報告書

学部名 現代マネジメント学部

フリガナ アズマ タミ
氏名 東 珠実

研究期間 平成21年度

研究課題名 女性リーダー育成のためのDUELプログラムの計画・実行及び評価・改善に関する研究

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	東 珠実	現代マネジメント学部	教授
研究分担者	岡田 広司	現代マネジメント学部	教授
研究分担者	スティーヴン. E. クアシャ	現代マネジメント学部	准教授
研究分担者	ロバート. P. ジー	現代マネジメント学部	准教授
研究分担者	塚田 文子	現代マネジメント学部	准教授
研究分担者	和久 豊	現代マネジメント学部	准教授

1. 本研究開始の背景や目的等 (200字～300字程度で記述)

本研究は、昨年度の学園研究費助成金(A)によって明らかにされたDUEL (Discussion, Understanding, Empowerment and Leadership)プログラムの試案(平成20年度学園研(A)報告書「女性リーダー育成教育プログラムの開発と実践に関する研究—DUELプログラムの展開方法の検討—」p.80)に基づき、同プログラムの有効性について検証することを目的とする。具体的には、D、U、E、Lのそれぞれについて、取り組みやすい個別プログラムを企画立案し、本学学生たちを対象にプログラムを実行するとともに、その効果と課題を明確にし、同プログラムの改善を図ることを目指すものである。

2. 研究方法等 (300字以内で記述)

- 1) プログラムD (Discussion) の実施
ドリーム・マップ(株式会社エム・ズ)によるワークショップを計画・実行・評価する。
- 2) プログラムU (Understanding) の実施
ロールモデルによるキャリアデザインに関する講演会を計画・実行・評価する。
- 3) プログラムE (Empowerment) の実施
演習(学生による調査や外部ワークショップ研修への参加)を計画・実行・評価する。
- 4) プログラムL (Leadership) の実施
学生の自主企画(イベント企画)の推進プログラムを計画・実行・成果を評価する。
- 5) 総括
上記1～4の研究成果をまとめ、報告書を作成する。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

1) プログラムD (Discussion) の研究成果 (クアシャ、ジー担当)

2009年11月25日、12月2日、9日の教養演習Ⅱの授業で、30名の学生に対しグループ学習をベースに、一人一人の「ドリーム・マップ」の作成実習を行った。「自分の将来を見つめるいい機会になった」などの感想が多く、各自の将来を具体的に計画する契機となった。

2) プログラムU (Understanding) の実施 (塚田担当)

2009年12月16日、大手商社に勤務する女性社員を「ロールモデル」に、女性の職業環境の変化や求められる役割等に関する講演会を実施した。34名の参加学生からは、具体的なワークライフバランスやリスペクトの話題等に高評価が得られ、効果的な学習機会となった。

3) プログラムE (Empowerment) の実施 (和久、東)

「学生による調査」では、東海地方のモーニングをテーマに掲げ、教養演習Ⅱで事前学習を行い、15名の学生が約80店舗の調査を実施した。限られた予算、スタッフでの効率的な調査方法の検討や報告書の作成等において実践的なマネジメント能力が育成された。また、「女性グループリーダー研修」(あいち男女共同参画財団)へ5名の学生を派遣した。参加者は、組織での能力活用に必要なコーチングスキルを習得することができた。

4) プログラムL (Leadership) の実施 (岡田)

「学生の自主企画」の推進プログラムとして、昨年度に続き、地域や名古屋市との連携の下、桜山商店街の活性化の企画とその実践を行った。今年度は、「優良店舗審査事業と優良店表彰制度」および「さくらサイダー」の商品開発について企画し、参加学生たちの、社会貢献力や実践的経営能力を高めることができた。

5) 総括 (東)

上記の研究成果を報告書にまとめた。各プログラムを繋ぐDUELの理念の再確認と総合的なプログラムづくりが課題である。

4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

① DUELプログラム	② ドリーム・マップ	③ ロールモデル	④ モーニング調査
⑤ 女性グループリーダー研修	⑥ 商店街活性化企画	⑦	⑧

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

・ 椋山女学園大学女性リーダー育成・研究グループ「平成20年度学園研究費助成金(A)報告書 女性リーダー育成のためのDUELプログラムの計画・実行及び評価・改善に関する研究」、50頁程度、2010年3月15日(発行予定)